

敬語

新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

			諧	呂	粗	拙	弊	愚	御	芳	讓	謙	為	賓	伺
			カイ	ロ	ソ あらーい	セツ つたなーい	ヘイ	グ おろーか	ギョ おん ゴ	ホウ (かんばーしい)	ジヨウ ゆずーる	ケン	イ	ヒン	シ うかがーう
			諧	呂	粗	拙	弊	愚	御	芳	讓	謙	為	賓	伺
			諧	呂	粗	拙	弊	愚	御	芳	讓	謙	為	賓	伺
			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
			⑬ 俳諧 ※発句・連句の総称(主に江戸時代に栄えた日本文学の形式)	⑫ お風呂に入る	⑪ 粗品を進呈する ※人に贈る品物や景品をへりくだって言う語	⑩ 拙著ではございますが、 ※自分の著作をへりくだって言う語	⑨ 弊社の商品 ※自分の会社をへりくだって言う語(主に社外の人に対して用いる)	⑧ 愚見を申し述べる ※自分の意見をへりくだって言う語	⑦ 明日、御社に伺います ※電話、手紙等で使用取引先や相手企業に対して使う言葉	⑥ 来客の芳名簿 ※冠婚葬祭などで使用相手の名前に対し高い尊敬の意味を表す	⑤ 席を譲る	④ 謙讓語	③ 親切な行為	② 来賓を迎える	① 先生のお宅へ伺う
( )	( )	( )	(はいかい)	(ふる)	(そしな)	(せつちよ)	(へいしや)	(ぐけん)	(おんしや)	(ほうめい)	(ゆずる)	(けんじよう)	(こうい)	(らいひん)	(うかがう)

# 敬語

## 教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 普段の言葉	遣い	( づか い )
② 印象に残る話		( いんしょう )
③ 丁寧な挨拶		( ていねい )
④ 明日、お宅へ	参ります	( まい り )
⑤ 資料をご覧になりましたか		( らん )
⑥ メールを	拝見しました	( はいけん )
⑦ ご意見を	承ります	( うけたまわ り )
⑧ ありがたく	存じます	( ぞん )
⑨ この度、	貴校を志望いたします	( きこう )
<small>※学校の「学」の字の代わりに「貴」という敬語をつけて尊敬を表す</small>		
⑩ ご	尊父様	( そんぷ )
<small>※葬儀やビジネスなどで対象の相手の実父に対して尊敬を表し用いる語</small>		
⑪ 皆さんで	召しあがってください	( め し )

## 敬語

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 先生のお宅へうかがう	( 伺う )	①7 明日、お宅へまいります	( 参り )
② らいひんを迎える	( 来賓 )	①8 資料をごらんになりましたか	( 覧 )
③ 親切なこうい	( 行為 )	①9 メールをはいけんしました	( 拝見 )
④ けんじよう語	( 謙讓 )	②0 <small>ご意見を</small> うけたまわります	( 承り )
⑤ 席をゆずる	( 譲る )	②1 ありがたくぞんじます	( 存 )
⑥ 来客のほうめい簿	( 芳名 )	②2 <small>この度、</small> きこうを志望いたします	( 貴校 )
⑦ 明日、おんしゃに伺います	( 御社 )	②3 ごそんぷ様	( 尊父 )
⑧ ぐけんを申し述べる	( 愚見 )	②4 皆さんでめしあがってください	( 召し )
⑨ へいしゃの商品	( 弊社 )	②5 ういてんぺん	( 有為転変 )
⑩ せつちよではございますが、	( 拙著 )	②6 一步もじようほしない	( 譲歩 )
⑪ そしなを進呈する	( 粗品 )	②7 機械のせいぎよ	( 制御 )
⑫ おふろに入る	( 風呂 )	②8 何のごようでしょうか	( 御用 )
⑬ はいかい	( 俳諧 )	②9 おろかな行い	( 愚か )
⑭ 普段の言葉づかい	( 遣い )	③0 ぐにもつかない話	( 愚 )
⑮ いんしょうに残る話	( 印象 )	③1 つたない文章	( 拙い )
⑯ ていねいな挨拶	( 丁寧 )	③2 仕事があらい	( 粗い )